



## みんなともだちプロジェクト

# みんなともだちプロジェクト

## 現地支援活動報告書 vol.1

- 1、支援活動目的 支援活動を開始するに当たって現地状況の把握  
各幼稚園・保育園園長先生への支援活動の説明すり合わせ  
大槌町商工会青年部との会合（みんなともだちプロジェクト説明）
- 2、活動期日 平成23年7月27日（水）から7月29日（金）まで
- 3、活動従事者 みんなともだちプロジェクト 大津幼稚園 角川主任・後藤副主任・室北理事長  
同行 葉山町赤十字ボランティア・みどり幼稚園再建プロジェクト 待寺真司
- 4、活動経費 高速利用代 24,200円 ガソリン代 17,720円 全走行距離約 1,415km
- 5、運営費支出金 0円（活動従事者個人負担のためプロジェクトからの出費は0円）
- 6、支援活動詳細（全行程）
  - 27日 22:45 葉山町集合 23:00 葉山町出発
  - 28日 03:20 国見PA到着給油休憩 05:40 花巻東和道の駅到着休憩後笛吹峠経由大槌町へ
  - 08:40 中央公民館到着 09:00 教育委員会訪問 学務課蒲田課長面談
  - 09:30 町役場福祉課訪問 趣旨説明 総務課訪問 平野課長と面談
  - 10:00 大槌町商工会訪問 青年部担当伊藤氏との会談・今後の支援活動打合せ
  - 11:00 おさなご幼稚園訪問 11:30 大槌保育園訪問 11:45 大ヶ口保育園訪問
  - 12:15 みどり幼稚園訪問 佐々木園長先生との面談 園児達との交流
  - 12:45 山田町 木村商店訪問
  - 13:05 山田町 なかよし公園商店街 WFP（世界食料基金）支援視察
  - 14:15 おさなご幼稚園再訪問 園長先生と面談 おはようブック2冊の支援要請を受ける
  - 15:00 大槌保育園再訪問 古館理事長と面談
  - 15:45 堤乳幼児保育園訪問 16:10 吉里吉里保育園訪問
  - 16:30 吉里吉里国 復活の薪製作現場訪問
  - 16:50 安渡保育所訪問 園長先生と面談 布団10組の支援要請を受ける
  - 17:10 大槌商工会再訪問 伊藤氏へ本日の活動報告を行う 17:30 大槌町出発遠野市へ
  - 18:40 遠野市到着も宿泊先がないため豪雨のなか花巻市へと向う
  - 20:00 花巻駅近くビジネスホテル花城到着 食事・宿泊
  - 29日 06:30 起床 07:00 朝食 08:20 花城ホテル出発 08:55 前沢SA給油休憩
  - 09:30 奥州平泉中尊寺視察 11:00 中尊寺出発 13:15 安達太良SA昼食休憩
  - 14:30 安達太良SA出発 18:45 葉山町到着 19:00 解散

### 7、支援活動概要及び所感など

今回の支援活動の目的は、岩手県上閉伊郡大槌町の幼稚園・保育園すべての園児達を支援するための「みんなともだちプロジェクト」の企画内容説明を行うことでした。神奈川県から700km 豪雨の中9時間の道のりで、3月にいち早く日赤のメンバーとして大槌町にボランティアセンターを立ち上げ、現地の状況に詳しい待寺氏に同行を頂きました。

このプロジェクトは逗子市在住の絵本作家でシンガーソングライターである、中川ひろたか氏が立ち上げ、その横須賀支部として横須賀市内の有志の幼稚園教職員「集めるともだち」が、支援先となる「困っているともだち」に大槌町のすべての園児達を支援の対象とさせていただきました。そして、大槌町商工会青年部の伊藤氏は「届けるともだち」です。当プロジェクトとしては、今後「みどり幼稚園再建プロジェクト」との連携を取りつつ、津波により甚大な被害を受けた、おさなご幼稚園・大槌保育園・吉里吉里保育園・安渡保育園の再建活動や、大ヶ口保育園・堤乳幼児園などに通う、すべての園児達に笑顔をお届けられるように、様々な活動を行っていかねばと考えます。今回訪問時に、おさなご幼稚園が

ら「おはようブック 2 冊」、安渡保育所から「布団 10 組」、大槌保育園から「栃木県からのピアノ輸送」の支援要請がそれぞれありました。ありがとうございます。

大槌町は 1 万 5 千人の町民の内、死亡 789 名、行方不明 773 名、(7 月 15 日現在) 震災当初は 9 千名の避難者があり、町長以下数十名の町職員が津波に巻き込まれ行方不明。民宿の屋上に流された観光船をご記憶の方も多いと存じます。自衛隊が撤収し、ほとんどの避難所は 7 月末をもって閉鎖、被災者は仮設住宅に転居することとなります。仮設住宅での長い生活は、かなりストレスが溜まったり、不便に感じる事などが多く発生するのではと懸念しております。今後も、地元の町当局、商工会や社会福祉協議会との結びつきを強めていき、大槌町の復興のために支援を展開していければと考えます。

仮設の町役場訪問の際、お忙しい中迎えていただいた町長代務の平野総務課長が語った「被災直後は多くの方の手助けを、行政として本当に信用して良いのか葛藤があったが、ボランティアを善人であると信じ、頼っていかないと復興が進まない。」との言葉が印象的でした。毎日様々な視察、訪問者を迎え、とても多忙な様子が伺えました。8 月 28 日には町長・町議会議員選挙が施行され、新しい大槌町のリーダーが選ばれます。再建に向けて一日も早い復興計画の進展を望んで止みません。



大槌町役場 平野総務課長



大槌町商工会青年部伊藤氏「届けるともだち」



みどり幼稚園被災園舎 (2F まで被災)



みどり幼稚園仮設園舎 (高校宿舎借用中)



みどり幼稚園園長、主任と支援の相談



みどり幼稚園夏季保育にて大型絵本熱演



おさなご幼稚園被災園舎（1F 軒下まで被災）



概ね復旧したおさなご幼稚園 園長先生方と



大槌保育園被災園舎復旧工事中（軒下まで被災）



大槌保育園理事長とピアノ輸送の打合せ



大槌保育園仮設園舎（ユニセフ支援）



堤乳幼児保育園（未被災）



吉里吉里保育園（被災）



吉里吉里保育園仮設園舎（寺院借用中）



安渡保育所（被災）安渡小仮設園舎と仮設住宅



安渡保育所園長と支援物資の打合せ



大ヶ口保育園（未被災）



吉里吉里国薪の湯 復活の薪製作現場



いち早く仮設復旧した中村生花店



WFP 支援仮設なかよし商店街



大槌町役場（被災）  
手前はガソリンスタンド仮設営業中



被災した JR 陸中山山田駅



被災したドラッグストア

周辺の道路や木造住宅の瓦礫は概ね撤去が進み基礎部分が残ります。鉄骨、コンクリート造の建物と車の残骸が多く見られます。 2011. 7. 28

